

第5回定例研究会

「古典芸能の『型』」

第5回定例研究会は、演劇評論家の権藤芳一先生をお招きして、「古典芸能の『型』」というテーマで講演いただきました。研究会では、演劇の中でもとくに古典芸能に焦点をしばって、雅楽・能・狂言・邦楽を中心にお話をいただきました。権藤芳一先生のご経歴は、下記の通りです。

【講師プロフィール】

武智鉄二氏に師事し、雑誌『演劇評論』の編集、前衛・実験劇の演出助手を務めた後、昭和33年より京都観世会館に事務局長として30年勤務。近年は、文化庁・京都府・京都市各文化財保護審議会委員および文化庁芸術祭・大阪文化祭・京都芸術賞各審査委員を務めている。

講師

権藤 芳一 氏（演劇評論家）

テーマ

古典芸能の「型」

講演日

2005年11月5日（土） 14:00～17:00 受付開始 13:30～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205

